

① 授業の概要

単元名 「気仙沼復興プロジェクト わたしたちのまち 未来の気仙沼」

目標 ① 課題を整理し、よりよい発信の方法について考えることができる。

【思考力・判断力・表現力】

② 気仙沼南町商業施設「ないわん」の魅力を伝えるために友達の考えを生かしながら、対話を通して課題の解決に向けて取り組むことができる。

【学びに向かう力，人間性等】

手立て ① 事前に児童が記述した付箋を整理させ、話し合いの観点を明確にする。 【視点1ーイ】

② ノートに授業の振り返りを記述させ、学びの深まりや考えの変容を実感させる。【視点1ーウ】

② 事後検討会から

成果【視点1ーイ】

○ グループごとに意欲的に課題が書かれた付箋を整理し、よりよい発信の方法について考えていた。

【視点1ーウ】

○ 振り返りでは、友達の意見を基に自分の考えが変容したことを記述する児童がいた。

課題【視点1ーイ】

● グループ活動では、グループごとに「よりよく」する観点が異なっていたために、課題が書かれた付箋を整理するのに時間が掛かっていた。

● 具体的な改善点を求めるなら、もう1時間必要である。国語の「町の幸福論」と関連付けて指導するとよい。

【視点1ーウ】

● 付箋を整理した感想や学習を通して学んだことなど、振り返りの観点をより明確にするとよい。

続けていきたいこと

- ・ グループでの話し合いでは、対話の目的を明確にして思いや考えを伝え合わせていきたい。
- ・ ノートやワークシートに授業の振り返りを記述させ、学びの深まりや考えの変容を実感させていきたい。
- ・ 気仙沼は「日本一」が多く、いろいろな題材にあふれているので、それを生かして海洋教育を進めていきたい。



【付箋をまとめている様子】



【改善案を発表している様子】